

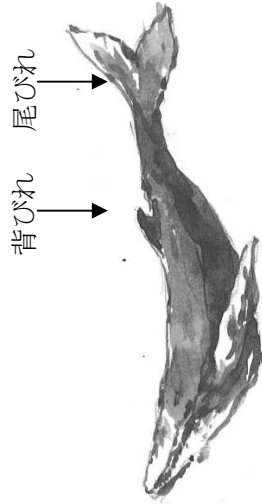
※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

徳島県^{とくしま}の山あい^{やまあい}の学校との合同学習発表会^{くわつがくへい}に向け、白鳥^{しらとり}さんは、地域^{ちいき}の「漁止め祭」^{いしどめまつり}について調べました。次は、白鳥^{しらとり}さんがまとめた資料^{しりょう}と発表原稿^{はつぱつげんこう}です。

【資料 1】



【資料 2】



クジラの背びれと尾びれ

【資料 3】



今年の漁船パレードの様子

【発表原稿】

わたしたちの住む愛南町^{あいなんちよう}柏崎^{かしき}地区は、文字どおり愛媛^{えひめ}県の南に位置する港町です。海が荒れない限り、毎日のように魚が水あげされます。

けれども、年に一日、「漁止め」といって海の仕事を休み、地区のお祭りをする日があります。

祭りの起こりは、一八〇三年夏の出来事です。由良^{ゆら}半島の沖^{おき}で、地区のカツオ船^{かつおふね}がクジラの大群^{たいぐん}に出会いました。クジラの背^せや尾^おびれが次々と船底^{ふねぞこ}をたたきます。このままでは、船が転ぶくしてしまう。命の危険^{きけん}を感じた漁師^{りし}たちが「今後、八月十二日は決して漁に出ません。もし助けてもらえたら、漁師にとって大切な旗^{はた}をさしあげます。」と神様^{かみさま}にお願いしたところ、クジラは去っていきました。

それから二百年以上たった今でも、漁止め祭が近づくと、地区の女性^{にょせい}たちは、のぼり（目印となる細長い旗）づくりに取り組みます。長さ八メートルをこえるのぼりは、しめなわとともに、神社^{しんじ}へ納められます。

およそ四十年前、漁止め祭の内容が大きく変わりました。それまでは、のぼりを納めて、酒をくみ交わすだけの祭りでしたが、みこしのねり歩きや漁船パレードが行われるようになりました。祭りにはなやかさをもたらす原動力^{げんどうりき}となったのが、地区の若者^{わかしゅ}たちでした。

かつての特産品^{しんさんひん}、真珠^{しんしゅ}があまり売れなくなっからは、若者の数が減り、地区の高れい化が進んでいます。祭りに参加する人の数も、年々少なくなっています。

それでも、今年の祭りには、初めて地区外からの参加がありました。また、漁船パレードに参加した船は、昨年の二倍におよぶ二十四せきを数えました。

来年も、漁止め祭の参加者が増えてほしいです。

【１ページ】

一 【発表原稿】の——線部「原動力」のように、漢字二字から成る熟語^{じゅくご}を作ります。次の□に共通して当てはまる漢字一字を書きましょう。

・作品□ ・□中力

二 白鳥さんは、最初の資料（【資料１】）に何を使うか、なやんでいます。あなたなら、【資料１】としてどんな資料を使いますか。使う資料の内容の説明と、その資料を使う理由を書きましょう。

三 白鳥さんは、漁止め祭の起こりとされる出来事^{*}を四コマまんがで表すことにしました。次は、その構想表^{こうそうへい}です。２番、３番の「場面の説明」を考え、それぞれ三十字以上、四十字以内にまとめて書きましょう。

【構想表】

番	場面の説明
1	この日、柏崎の漁師たちは、由良沖でクジラの大群に出会いました。
2	
3	
4	すると、たくさんいたはずのクジラは、すっかりいなくなりました。

※ 四コマまんが…四つのコマで構成^{こうせい}されるまんが。
左のまんがは、「漫画^{まんが}故事成語」（境港市観光協会作成）からの引用。



- 1 昔の中国で、ある商人が言いました。「この盾は堅いから、どんな鋭い矛も通さないよ。」
- 2 また、「この矛は鋭いから、どんな盾でも必ずつき通すよ。」と言いました。
- 3 見物人が言いました。「じゃあ、その矛でその盾をついたらどうなるんだい。」
- 4 その商人は、答えることができませんでした。

1

--

11

資料の説明

--

豊田

--

111

2 粗

[illegible]

										40				30

3 粧

[illegible]

										40				

シート 20 正答例

一 集

二

(例 1)

資料の説明 四国全体の白地図（愛南町を☆印で示す）。

理由 徳島県の人には、愛南町の位置が分かりにくいと思うから。

(例 2)

資料の説明 水あげの様子を写した写真。

理由 山あいに住む人には、めずらしい光景だと思うから。

三

(例)

2 番 クジラの背や尾びれが次々と船底をたたき、船は転ぶ寸前です。（30 字）

3 番 漁師たちは、「八月十二日は漁に出ないので助けてください。」と神様に言いました。（39 字）